

学校法人小寺学園
令和3年度 事業計画企画書

報告書作成日 2021年4月1日

基礎情報内容	実施園情報
法人名	学校法人小寺学園
理事長名	秦賢志
園名	幼保連携型認定こども園はまようちえん
園長名	小寺由起
担当者名	役職名: 教頭 氏名: 樋口詩菜
住所	〒661-0967 兵庫県尼崎市浜2-2-13
電話番号	06-6499-4919
FAX 番号	06-6499-4931
メールアドレス	hata@hama.ed.jp
園児数	226人
学級数と人数	ようちえん7学級 196人 ナーサリー 30人
教職員数	65人

本園の教育目標	わたしになる。ぼくになる。 つよく。かしこく。うつくしく。おもしろく。
今年度重点目標	①保育の質向上と仕事の効率化にむけたシステムの確立 (ONOFF スマートサイクルプロジェクト～ part 2 ～)
	②指導計画記録の再構築
	③ミドルリーダーのチームマネジメント力向上
	④キンダーカウンセラー制度を生かした特別支援教育の充実

今年度の重点目標	①保育の質向上と仕事の効率化にむけたシステム確立
テーマ	ONOFF スマートサイクルプロジェクト ～ part 2 ～

達成目標 GOAL 達成したい目標 評価目標

はまようスタッフみんなが気持ちよく働く（メンバーが機嫌よく仕事し、働きやすいチームとなる）
 ための、持続可能に運用できるシステムの確立。

企画意図 CONCEPT 目的 目標 コンセプト めざす方向

【背景】

子どもにより良い保育をより良いようちえん生活を願い、そこに向かって皆で協力し合うことを目指しているチームになることの最終的な課題として、長い時間をかけて仕事をするのではなく、効率良く仕事をこなし、プライベートを充実させることに取り組むため、昨年度より発起した ONOFF スマートサイクルプロジェクト。そのなかで、プロジェクト理念を策定し、働き方に対する新たなガイドラインを作成した。（情報共有ツール・有給休暇とリフレッシュデー取得・ノーコンタクトタイム活用）

今年度より実際に運用しながら、持続可能なシステムを確立させていく。各部門ごとに運用に対する課題が異なることから、部門を超えたメンバーでふりかえりミーティングを行い検討を重ねていく。

【目的】

効率良く仕事をこなし、自分の生活全体（休日の生活、プライベートな生活）を充実させることにより、仕事（保育）の質を向上させる。

【目標】

持続可能な保育の質向上と仕事の効率化にむけたシステムの確立。

実施計画 PLAN いつ どこで 誰が どのように実施するのか

【いつ】

運用している新システムについてのふりかえりミーティングを、最低学期に1回行う。

【誰が】

プロジェクトメンバー：

樋口（リーダー）・小川（サブリーダー）・荒嘉・魚住（新）・岡（新）・二木・西澤・林田・山里・山本薫

【どのように】

- ①ふりかえりミーティングでガイドライン・ルールを再検討
- ②ガイドライン・ルールの変更に関して、秦が承認
- ③全メンバーに改訂したガイドライン・ルールをプレゼンテーション

今年度の重点目標	②指導計画記録の再構築
テーマ	はまよう保育に有用な指導計画の作成

達成目標 GOAL 達成したい目標 評価目標

書面での記録をデータ化し、だれが見てもわかりやすく記録を検索しやすい指導計画を作成する。

企画意図 CONCEPT 目的 目標 コンセプト めざす方向

【背景】

・公開保育で、はまよう保育の中に当たり前になっている活動や環境について他園の先生方に問われた際、その意図を言葉にして伝えることへの難しさを現場スタッフが痛感し課題意識を持った。

また、昨年度6名のメンバーが退職し、4名の新メンバーと3名の産休復帰組を迎え入れ、メンバーの入れ替わりが多くなった今年度。誰が見てもわかりやすい記録へと再構築することにより、旧メンバーがはまよう保育の大切にしていることを再確認し、新メンバーが具体的な見通しを持って保育に取り組むことができるようにする。

・保育活動の記録が書面にてファイリングされており、過去の記録を閲覧するのに、記録の量が多すぎて必要な情報を見落とししたり、解釈違いを起こしたりするなどの問題もあり、記録を整理することの必要性を感じている。

【目的】

保育のねらいに基づく具体的な見通しをみんなが意識することで、より質の高い保育を創造する。

【目標】

書面での記録をデータ化し、だれが見てもわかりやすく検索しやすい指導計画のフォーマット作成。

実施計画 PLAN いつ どこで 誰が どのように実施するのか

【プロジェクトメンバー】

岡・田中・樋口・松尾

【実施内容】

- ①各部門の指導計画やふりかえり記録を持ち寄り、現状と課題を共有。
- ②データ化するにあたっての使用ソフトの検討。
- ③記録のフォーマットを作成。

今年度の重点目標	③ミドルリーダーのチームマネジメント力向上
テーマ	リーダー研修（ミーティング）の充実

達成目標 GOAL 達成したい目標 評価目標
<p>現場リーダーが主体的にチームマネジメントを行うために、 はまようのリーダーとして求められていること・大切にしたいことについて学ぶ。</p>
企画意図 CONCEPT 目的 目標 コンセプト めざす方向
<p>【背景】 現場のリーダーは、チームの中での自分の立ち位置や仕事の割り振り、部下への指導方法などに課題意識を持っている一方で、課題解決を理事長、園長、教頭へ委ねるだけでなく、現場リーダーが自発的に園内研修を企画したり、部門間を超えてリーダー同士が相談し合ったりすることが増えてきた。リーダー一人ひとりのマネジメントスキルが向上することにより、現場リーダーがより主体的にチームのパフォーマンスを向上させていくことに繋げたい。</p> <p>【目的】 現場のリーダーが主体的にチームマネジメントを行う。</p> <p>【目標】 ・現場リーダーが自発的にチームの問題を課題化し、トップマネジメントと連携しながら課題解決につなげる。 ・はまようのリーダーとして求められていること・大切にしたいことについて学び、自身の行動を振り返り、リーダーとしての個人目標を明確化する。</p>
実施計画 PLAN いつ どこで 誰が どのように実施するのか
<p><リーダーミーティング> 【いつ】月1回 14:30-16:30 【誰が】秦（理事長）、由起（園長）、市田（副園長）、樋口（教頭）、松本（食べる部門ヘッドキャプテン） 西澤（総務部門ヘッドキャプテン）、山本薫（ようちえん部門ヘッドキャプテン）、鶴飼（うさぎ部門キャプテン）、 魚住（総務部門キャプテン）、林田（ナーサリー部門副キャプテン）、計10名 【どのように】 ミーティング内容をトップダウンで決定するのではなく、現場から挙がってきた課題について話し合う。 ①メンバー→部門リーダー 年度初めに作成した「部門別テーマ（年間）」をもとに現状をヒアリング。 ②部門リーダー→樋口（教頭） ①から挙げたチームの課題を共有。 ③樋口（教頭）→秦（理事長） 最終ミーティングの進行計画を作成。</p> <p><拡大リーダーミーティング> 【いつ】学期1回 【誰が】ジュニアリーダー以上の全てのメンバー 計14名 【どのように】 チームの現状と課題から、現場リーダーに向けて秦・樋口が研修を企画し、 はまようのリーダーとして求められていること・大切にしたいことについて学ぶ機会とする。</p>

今年度の重点目標	④キンダーカウンセラー制度（私立幼稚園子育て支援カウンセラー事業）を生かした特別支援教育の充実
テーマ	一人ひとりに合わせた個別の支援（関わり）について考えを深める。

達成目標 GOAL 達成したい目標 評価目標
<p>現場の保育者が悩んでいる子どもへの関わりについて臨床心理士から具体的なアドバイスをいただき、解決への糸口を見出す。</p>
企画意図 CONCEPT 目的 目標 コンセプト めざす方向
<p>【背景】 園の保育者だけで話し合っても子どもの理解が難しいケースや、特別なサポートが必要な子どもについて、専門的な（臨床心理士目線での）アドバイスから、その子に合った関わりや、保護者支援を深めたい。</p> <p>【目的】 臨床心理士の視点で、個々に応じた関わりについてアドバイスいただき、一人ひとりに合わせた個別の支援（関わり）について考えを深める。</p>
実施計画 PLAN いつ どこで 誰が どのように実施するのか
<p>【いつ】 月1回（年12回） 9:00-14:00</p> <p>【誰が】 臨床心理士、園長、教頭、対象児の担任</p> <p>【どのように】 臨床心理士の、保育観察と面談を通して、園児への関わりについて具体的なアドバイスをいただく。</p>